



3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

令和元年 6 月 4 日

令和元年度第1回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社)日本物流団体連合会(会長:田村修二)は、5月31日(金)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する今年度第一回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。会合には、国土交通省の宮島正悟国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業から30人が参加した。

会合では、まず、日本貿易振興機構(ジェトロ)・渡邊敬士氏より、南アジアの物流ハブ拠点として注目されているインド洋の島国スリランカについて、「スリランカのビジネス環境と日系企業動向について」と題し、同国の政治・経済概況、投資環境などの説明が行われた。4月21日に発生した連続爆破テロ事件により、現在、同国への渡航には制約があるものの、「多くの優位性がありながら、まだ十分に活用されていない」と、有望な投資先としてのスリランカに着目したいとの説明が行われた。

続いて、国土交通省総合政策局 宮島国際物流課長より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組や今後の予定として、「ASEAN スマートコールドチェーン構想」におけるビジョン及び戦略、7月に開催が予定されている第15回日ASEAN物流専門家会合の概要、シベリア鉄道の利用促進に向けたパイロット事業の募集、日中韓物流大臣会合の準備会合(課長級)の開催等について説明が行われた。

次に、海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)・川上泰司事業推進部次長より、「JOIN 役割と事業支援方針」と題し、同社の事業支援方針と各支援事業の概要説明が行われた。

最後に、事務局より、今年度の海外物流事情実態調査の実施計画と参加者募集の説明を行った。

本ワーキングチームの活動は、今年度も物流連の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は、7月中旬の開催を予定している。

以上

事務局 中川

会合全景



説明する日本貿易振興機構 渡邊敬士氏



説明する国土交通省 宮島正悟国際物流課長



説明する海外交通・都市開発事業支援機構 川上泰司事業推進部次長

